

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、北浜圏域） 第3回会議 議事録

開催日時	令和3年2月19日（金）10時から11時40分まで
参加者	委員：10人 事務局：3人 関係機関：3人
場 所	ふれあい交流センター浜北 大・小会議室
内 容	<p>1. 開 会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3. 議 題</p> <p>（1） おでかけマップの見直しおよび活用方法について（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回、部数が少なく活用できなかったと言う意見もあったので、今回新たに700部を印刷した。今後、自治会、町内会、シニアクラブ、民生委員等に、それぞれの内容に合った文書を添付して、今年度内に配布する。</li> <li>・ 自治連、シニアクラブに依頼し、アンケートを実施した。16名より回収。「活用できていない」「どのように活用していいかわからない」「他地区の活動に参加するのは抵抗がある」という声が挙がっている。</li> <li>・ 前回、ご意見をいただいたように、市社協のホームページに掲載していきたい。</li> </ul> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他の地域に出かけて活動するのではなく、それぞれの福祉会・シニアクラブで、他地域の活動を見て、こういうことを自分の地域でもやりたい、と思っていただけるといい。活動している所に問い合わせるようになるといい。</li> <li>・ こんな活動をしたい、という希望が挙がった時に、今はどこに連絡していいかわからない。そのような時にマップを見れば誰に連絡していいか明記したらどうか。</li> <li>・ 活動に参加している人だけでなく、閉じこもりがちな人が出られるようなきっかけになるといい。その為には地域の高齢者とコンタクトをとれる方に渡してもらいたい。</li> <li>・ 民生委員にも渡すので、閉じこもっている人を掘り起こせるよう、有効に使えるといい。</li> <li>・ 個々の民生委員は、75歳以上の閉じこもりがちな高齢者の情報は持っている。高齢者の置かれている状況の違いもある。支援が必要な方には、もっと違う物でもいいのではないか。</li> <li>・ いくら言っても活動に参加してくれない方は、一人ずつ追って、やっていくしかないのでは。</li> <li>・ 高畑は自治会をやった方が地域活動に残る仕組みがある。リーダーがいるクラブは活発だが、リーダーがいなくなると無くなってしまう。リーダーの育成が課題。</li> <li>・ 自治会やシニアクラブのリーダー等のトップが掌握する必要がある。組織をうまく活用して情報を伝達できるとよい。</li> </ul>

- ・アンケート内容の分析をする必要があると思う。

#### 【決定事項】

- ・マップを配布する際に、アンケートの一部と、活用方法の例、送付先に合わせた依頼の文書等を付ける。

#### (2) 移動支援について (北浜中地区より報告)

- ・令和2年11月から活動開始。浜松市でも初めての試みになる。
- ・11月は6件の依頼があったが、コロナの影響で、12月～1月は中止とした。
- ・あくまで家事支援の中での活動になる。連絡を受けると調整員が家に行って確認する。時間としては1～2時間くらい。一緒に病院に行き、話をしながら一緒に待っていることもある。ドライバーの登録は8名。
- ・サロンやグランドゴルフの送迎は断っている。地区の関係で東区でも笠井の病院へは行く。家事支援の範囲が2時間以内なので、聖隷三方原病院のように時間がかかる所は断っている。
- ・免許を返納した人のフォローは必要。
- ・お墓参りに連れて行ってほしい、という希望は対象と考えている。
- ・コロナ対策としては、運転席に飛沫防止のシートを張っている。消毒液と体温計も所持している。
- ・ニーズはたくさんあると思う。やってみて、考えていく。
- ・法的解釈をどうするかを、教えてくれる人がいなかった。国土交通省に何度か連絡した。アドバイスできる人が必要だと思う。他地区でやりたい人がいれば、相談ののってあげたい。探っていく中で「移動サービスネットワーク」という組織に聞くといいということが分かった。
- ・課題としては、資金面のこと、また、一人の方の利用に対し回数制限をつけるか、が挙げられる。

#### 4. その他

- ・社会福祉協議会浜北地区センターより  
北浜中地区で出している「なかちゃん通信」を他地区にも情報提供をした。  
浜名地区が、同じような形で通信を検討していくことになった。
- ・家事支援の会  
北浜東部地区・北浜中地区ともに、基本は屋外の対応にしている。
- ・マップについて  
Q1：民生委員は4月の調査の時にマップを渡すことができるか？  
A1：新規の方は調査が初めてなので、難しい。

	<p>Q 2 : 民生委員に協力していただける場合、毎年何人くらい訪問するのか？</p> <p>A 2 : 3年に1回は75歳以上の方全員が対象になる。今年は一斉調査の年になる。</p> <p><b>【意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マップの活用に関しては、交流の場を考える材料にはなるのでは。地域によっては、女性が少ない所もある。また、最近女性の新規の参加者が3名増えた所もある。それぞれの活動の紹介のチラシがあるといい。</li> <li>・サロンの代表にもマップを配ったらどうか→会長と事務局と相談していく。</li> </ul>
<p>今後の見通し等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おでかけマップについて、年度内に各関係機関に配布できるよう調整する。</li> <li>・次年度のテーマとして、リーダー育成の課題も挙がっているため、講座の実施等検討していく。</li> </ul> <p>次回会議予定：令和3年5月21日（金）10：00～ふれあい交流センター浜北</p>